

## 陸前高田市 ボードゲーム利用の手引き

### はじめに

奈良教育大学では、2012年から陸前高田市を中心とした文化遺産調査ならびに防災教育の一環としての聞き取り調査に取り組んでいます。防災教育班では、現地で得た調査内容をもとに論文や指導案の作成を行ってきました。今年度は、子どもたちが調査内容に触れ、楽しみながら市の防災・町のよいところを学ぶことが出来るような教材として、「陸前高田市ボードゲーム」を作成しました。マスにある問い（学びカード参照）を考えることを通して、陸前高田市のことをより「知りたい」「気になる」「何かしたい」という子どもたちが増えることを願っています。

### 進め方

ボードゲームは、「遊び方」と「学び方」の二通りを想定して作成しました。

### 遊びとして

休み時間等、子どもたちだけで遊ぶ場面での活用を想定しています。準備物は「さいころ、こま」のみです。

### 学びとして

授業等の場面での活用を想定しています。準備物は、「さいころ、こま、ノート、陸前高田市ボードゲーム学びカード」です。学びカードは、「クイズ形式」と「説明形式」の二種類で構成されています。グループでクイズについて話し合うことで、陸前高田市の防災や文化財について考え、学べるようにしました。また、手引きでは、以下に一部カードに関する補足内容や学びをさらに深めるためのポイントをまとめています。ボードゲームで授業される前や子どもたちがクイズを考える際の資料として参考にいただければと思います。

### 補足資料

#### ①陸前高田の文化財

解答：四体の仏像の首の胸飾きょうしよく（ネックレスのようなもの）に注目すると、それぞれが中心に円形の花飾りをもち、弧を連ねた波型をしていることがわかります。この特徴は珍しく、同じ時期に同じ仏師が作成したと考えられます。



